

●一般社団法人日本離床研究会主催 教育講座  
わかる！読める！胸部レントゲン写真読影の実際

日時：平成27年7月25日(土) 14:30～18:40

7月26日(日) 9:40～16:10

会場：名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール(名古屋市)  
講師：葛川元先生(日本離床研究会学術研究部)

足立拓也先生(兵庫医科大学病院)

小西弘起先生(神戸市立医療センター西市民病院)

受講費：2日間 19,800円(税込)

定員：100名

内容：レントゲン読影に必須の知識である、撮影条件・読影手順・各疾患の臨床的特徴などをトータルに理解できる  
基礎講座

1. 画像を見る前に知っておきたいポイント
2. 正常ではこう見える！わかっておきたい基本画像
3. 見落とさないための効率的な読影手順
4. 事故防止には絶対必須！カテーテルの位置確認
5. 見てみよう！代表的疾患の胸部X線
6. 読影トレーニング

申込み：ホームページよりオンラインで申込み

HP: <http://www.rishou.org/>

問合せ：一般社団法人 日本離床研究会事務局 TEL: 03-3556-5585

●一般社団法人日本離床研究会教育講座  
リハビリテーションに必須となる薬剤の基礎知識

日時：2015年8月30日(日)10:00～16:10

場所：名古屋国際会議場(名古屋市)

講師 原田 真二 先生(大和成和病院) 谷 崇史 先生(石巻赤十字病院)

対象:PT・OT・ST (左記以外でも受講可)

受講料:一般12,800 円 (税込)

内容:本講座では、リハビリテーションに使われる薬剤を厳選してわかりやすく解説。  
臨床で頻繁に遭遇する、脳外・整形・循環など疾患・病態別に薬剤の知識を学びます。

1. まずおさえない薬剤の基礎知識
  - ・経口か? 経静脈か? 投与方法の選択はこうして行われている
  - ・γ(ガンマ)とml/h・3T×N カルテに記載された記号や略語を読めるようになる! ほか
2. 疾患・症状別に理解する薬剤の種類と効能
  - ・使用薬剤をみれば脳梗塞病型がわかる ~抗血栓薬・抗凝固薬・抗血小板薬~
  - ・疼痛を訴える患者さんの鎮痛薬~ペストチオイスを考える~
  - ・輸液の基本的な考え方~最低限おさえない補充液と維持液の違い~
  - ・複雑な不整脈分類とは決別! シンプルに理解する抗不整脈薬 ほか
3. 投薬の変更・増減量から予測する主治医の意図と離床方針の考え方
  - 以下の場合ADL アップを図ってよいか?
    - ・脳梗塞発症3日目⇒プレタール®+ラジカット® にスロンノン® が追加
    - ・慢性心不全患者⇒アルダクトン® 内服からラシックス® 静注に変更
    - ・心原性脳塞栓症発症2日目⇒ヘパリン® が6ml/h から3ml/h に減量
4. 薬剤に関する臨床相談室

申込み:ホームページよりオンラインで申込み

HP: <http://www.rishou.org/>

問合せ:一般社団法人 日本離床研究会事務局 TEL: 03-3556-5585



一般社団法人 日本離床研究会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル2 階

TEL: 03-3556-5585 FAX: 03-6272-9683

Email: [jsea@rishou.org](mailto:jsea@rishou.org) HP: <http://www.rishou.org/>